

つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針（案）  
保護者説明会

上境保育所

月 日	開催時間	参加者数	
		会場	オンライン
7月31日(土)	10:00~11:10	7人	5人

【主な質問・意見と回答】

・：保護者質問、意見

→：市回答

・引継ぎ先の場所は桜の森、流星台、春風台などになるのか。

→そのとおりで、この近くのエリアで募集する。

・子どもが3人いて2人を民間に入れた経験があり、民間は独自のものを取り入れるがために親の費用的な負担が多いと感じる。民間が参入して、子どもを入所させる競争になってしまうのは困る。基準の見直しをしてほしい。公立に入れたのは、子どもに自然にのびのび過ごしてほしいから。施設が良ければいいというわけではない。

→保護者の御意見を条件に付して公募したいと考えている。

・孫が通っている。アットホームで子どもたちがのびのびしてよい環境。なぜ公立ではいけないのか。荃崎地区には1箇所公立が残るのに、桜地区の旧村部に公立がなくなる。また公立では保育士の割合が1歳児で4:1で子どもを大事にしている。私立だと5:1や6:1の国の古い基準のまま。民間任せにしないで、つくば市の位置づけを知らせつつ検討してほしい。障害を持った子も公立だから受け入れてくれることも多々あった。いろんな子が一緒に生活して育ちあうことが大切。

→貴重な御意見として承る。

・民間への移行で財源の負担が減ることは理解できるが、親へのリターンはどのように考えているか。つくば市という後ろ盾があって安心して子どもを預けている。公立はいいと思いながら、市の方針だから従わざるを得ないという思い。過剰なサービスは求めている。新しい法人がどれだけ我々の意を汲んでくれるのが問題。次回の説明会を心待ちにしながら、いい法人がくるのを祈っている。

→負担が多くなることに関しては一時的に補助金などができないか考えている。

・平成 20 年の「耐震改修促進計画」では、上境保育所は公立では建て直しを行わないという計画だったのか、途中から変更があったのか。  
→その計画では、施設ごとの具体的な方針には触れていなかったのかもしれない。

・平成 24 年度に耐震診断結果が出て、危険性が高いのならばもっと早く対応するべきだし、危険性が低いならば早急に民間にするということはよくわからない。  
→平成 29 年度に耐震診断結果報告書で指摘を受けた不良箇所のうち、簡易かつ応急的な修繕が可能な部分については、各施設 1 か所程度の修繕工事を実施した。必要な修繕は、適宜行っている。耐震数値的には低いですが、日々の修繕等で危険性の軽減を図り安全な保育を心掛けている。

・大震災に耐えられるということか。  
→耐震的には数値は上がっていないが、すぐに崩壊するような危険性はないと認識している。

・平成 29 年度から令和 3 年度まで期間が空いているし、入所予定者に新耐震基準を満たしていないことの情報提供は必要だったのではないかと。入ってみたら危険だと、危険だから移ってくださいと言われているのが今の状況。現入所者への補償は最大限行うべきだと思う。  
→2 年前に基本方針を作成し、9 保育所の全体方針を作成した。耐震に関して入所案内等に記載しておくべきだったと反省している。今回の方針は入所のしおりなどに記載する。今入所している方には、補助金のようなものを検討はしていこうと考えている。

・市の財政全体も詳しく知りたい。他にも古い保育園は多いので、このような形で公立が減らされるのは残念。民間の保育もチェックしていかなければならない。市長が公立保育所 23 か所は修繕しながら守っていくと話していたのを聞いたのでそれが変わったのが残念。  
→市長とは随時情報共有しているので、御意見はお伝えする。

・保育園の建設費 2 億 3 千万円はかかりすぎではないか。  
→建設費用自体は 90 人規模で約 3 億円かかる。民間による建設だと国が 1/2、事業者が 1/4 の負担がある。

・円グラフは運営費のみか。  
→建設費と運営費を合わせたものである。

・事業者が土地も含めて選定するのか。  
→はい。

- ・上境保育所は定員割れしている。人口は増えているのかもしれないが、この周辺は一戸建てが多く入れ替えが少ないので、保育園児は増えないと思うが、将来に向けた収支見込や試算があるのか。利用者側に負担が増えていく形にならないか。  
→人口ビジョンで 2048 年まで人口が増加すると見込んでいる。この周辺は開発等進んでいるので、現在でも民間保育園を誘致している。民間業者の選定については、外部の方も入った選定委員会で、個別整備計画に沿ったものを選定していく。民間保育園の運営費は、国 1/2、県 1/4、市 1/4 で負担しているので、保護者の負担が急に増えることは考えにくい。補助金等は検討していく。
- ・中央部を公立のまま、周辺部を民間でという計画だが、ニーズの低い周辺部は公立で手厚くすべきではないか。  
→上境の周辺のニーズが低いとは考えていない。実際、事業者からの相談も受けている。削減できる財源は待機児童対策や新たな子育て施策の財源と考えている。
- ・いずれ吾妻や竹園も民間に移行するのか。  
→現時点では考えていない。
- ・具体的な修繕箇所を教えてほしい。  
→外壁や柱周りに H 型の鉄骨を這わせたり、外壁に外付けフレームを取り付けて耐久度の向上を図った。
- ・耐震に関わるということか。  
→簡易的な修繕を行った。

以上